



K U Z U U

例会日 毎週火曜日
 例会場 足利銀行葛生支店
 栃木県安蘇郡葛生町
 中央東 1-12-11
 ☎0283(86)2181

ROTARY CLUB NEWS

2003～2004RI 会長テーマ 「手を貸そう」 ジョナサン・B・マジヤバ

葛生 RC 会長テーマ 「勇気を持って行動しよう」 福島 秀治

副会長 関口 泰一郎 幹事 酒庭 和一 副幹事 中田 秀昭

2003～2004 ⑩第 2086 回 15.10.28 例会場 於：足利銀行 葛生支店 PM12：30～

会長挨拶

皆さん今日は。

いよいよ本日衆院選が公示されました。

12 日間にわたる選挙戦がスタートしたわけでありまして。この間、各政党は、「景気対策・経済対策」など、「マニフェスト」つまり政権公約を掲げて望んでいる訳でして、私達有権者にも政党の考え方や、政治の中身がより分かり易くなっている訳です。

したがって、今回の選挙は私達有権者ひとり一人にも大きな責任がある訳ですよ。期間中は何度も候補者の演説を聞く機会があるものと思います。そして皆さんの判断が、今後の日本再生に大きく左右されるものと思いますので、大事な「一票」を投じたいものです。

お客様紹介 名誉会員 立川裕康氏

卓話

皆さん、何時も大変お世話になっております。今日は、短い時間ですが町政についてお話させていただきます。

この度の衆議院選挙はマニフェスト選挙と言われております。ある候補者の事務所開きへ行きました所、今までとは違い後援者の数が少なく驚きました。各政党及び国民にとりましても今回は大変大事な選挙になると思いますので宜しく願いいたします。

私が町議に当選した 33 年前、吉澤俊夫さんの所に御伺いした時に、「これで勉強しなさい」と地方自治法の解説書を頂きました。それが今でも大変役に立つのです。と言う事は、日本の地方自治制度は基本的には大きな変革が無いということだと思えます。教育の場で地方自治を教育していればもっと高まっていると思いますが、高まっていないのは教育が中立でなければ成らないと言う事で、政治のやり方を教育していない実態が生じてきています。政治と行政のやり方をヨーロッパ・アメリカから導入する事に夢中になっていて、伝統的発想や社会的規範、日本古来の道徳や規範・観念等が失われて来ていることが問題だと思われまます。又現在の町議会の運営上でもこの様な問題が発生しています。

1 市 2 町の合併問題について

当初とは大きく政治状況と経済・財政状況が違ってきました。以前はお互いに説得出来る力とコンセンサスがとれていましたが、この所コンセンサスを作れない状況が有り、それが一番大きな変化です。

それと、社会状況の変化です。5 年前、景気は回復するのではないかと思われており景気に対する待望論も有りましたが、現在は非常に経済・財政が厳しくなっています。

葛生町の企業でも毎年県で上位 100 社の中に 3~5 社が入っていましたが、本年はゼロになりました。又、業種別 50 社以内に入る企業も数社になってしまいました。葛生の地場産業も大きな影響を受けております。佐野・田沼は横這い状態で推移しております。佐野は毛塚市長が在任中には成果が出ませんでした。都市開発公団が企業を誘致しまして（アウトレット・イオン等）それらが社会的状況の変化の中で非常に伸びています。一昨年、佐野市では新規事業に取り組みないと宣言する様な状況になっていましたが、現在は回復基調になっております。

行政は、企業運営と同様に預金・積立金等が無ければ運営出来ない様に、日本政府では、財政調整交付金というものを設けて日本全体の財政を平準化する方法をとって来ました。町でも年度によりばらつきが出ますので、財政調整基金を作り、それにより安定した行政運営が出来ましたが、税収が落ちると共に国の地方交付税の取り扱い方が厳しくなって来ました。ここ 10 年の平準的な予算で考えますと、葛生は今の段階で基金を 3 億 5 千万円取り崩さないとやっていけない状況です。これは、ほぼ人口に比例していきますので、田沼は単純に計算して 2 倍で 7 億円、佐野は 6 倍で 20 億円近くになります。以上のように大変厳しい資金運用をしております。この様な状況では、財政調整基金がいくらあるかがお互いの力関係になってきます。

私は、早くより合併があるので基金を残してきましたが、国や県からは「基金は残さないで早く使いなさい」と言う指導を受けた事が有ります。非交付団体は別にして、栃木県で人口 1 人当たりの基金が一番あるには葛生町だと思います。これは町長に就任後まもなくから実行してきました結果です。

現在、基金の残高は、佐野市は 48 億円・田沼町は 14 億円・葛生町は 22 億円です。財政調整基金は、佐野市は 30 億円・田沼町は 5 億円・葛生町は 10 億円程度です。葛生を基本に人口比率から割り出しますと、佐野市は 75 億円・田沼町は 20 億円に成り、佐野が 50 億円・田沼が 15 億円足りない状況です。

この様に、現況は人口と基金のバランスが悪くなって来ています。5 年前はこれ程ひどくはありませんでした。いざ土壇場になりますとお金になって来ます。今問題になっているのが、合併前にそれぞれの市町で施設の建設をしてしまおうとする動きです。合併前特例債というものがあり、返済は合併後からになります。これは合併する事で借金を認めるのではなく、合併を進める為に必要な借金を認められる事です。行政で作る施設には、法で造る施設（小・中学校・保育園・公民館等）任意で造る施設（秋山学寮・温泉施設等）の 2 種類あり、ここで問題になってきたのが任意的な施設をこの時点で造ろうとした事です。施設の建設等はその様な事を考慮して決めなければなりません。

今回の市町村の合併は行政改革を進める為であり、今が今後の市町の在り方や方向を決める為に色々取り決めをする大切で大変な時期であり、お互いの綱引き（駆け引き）の時期でもあります。

市町の職員の数と報酬の問題、議員の任期延長・定数と報酬の問題等

（3 市町のラスパイル指数 佐野 104% 田沼・葛生 98%）

合併後は特例法により 10 年間補助金が交付されますが、その後は無くなりますので行政改革等を確実にやらなければ成りません。そして、合併協議会により合併後の頑健な行政改革の方向付けを示し、我々市町民はこれ等を厳格に見て行かなければなりません。

資料（合併協議会だより）

議員報酬（合併後は高い所に合わせる）

佐野市(28 名)7,669,000 円 田沼町(20 名)4,270,000 円 葛生町(16 名)4,124,000 円

現在の 3 市町の報酬総額 366,134 千円

（イ）在任特例を適用した時の報酬総額 490,816 千円で 124,682 千円の増

（ロ）法定上限数 34 人の報酬総額 260,746 千円で 105,388 千円の減

(イ)と(ロ)との差額 230,070 千円

また役所の職員の給料も同様の結果になるでしょうから、人員の削減が必要になります。

会長報告

- 1) 先週(10月23日)新世代委員会の行事であります「秋の自然に親しむ会」に中田委員長と参加して参りました。
- 2) 葛生ライオンズクラブより、先日行われた「結成30周年記念式典」出席の礼状が届いております。

幹事報告

- ① 第6分区I M 日時 H15.12.13(土) ホテルマリアージュ 仙水
出欠は中田副幹事がっておりますので宜しくお願い致します。
- ② ローラーレイトが11月1日から1ドル110円に変更されます。
- ③ 葛生ライオンズクラブから30周年記念式典に際しての礼状が来ております。また、岩舟RCから例会時間変更のお知らせが来ております。回覧いたしますのでご覧下さい。
- ④ 米山委員長から白い封筒が届いていると思いますが、メールボックスの中がいっぱいで入らない人がいますので、中の整理をお願い致します。

各委員会報告

<国際奉仕委員会> 岩崎委員長 「世界大会」の申込は次回までです。

<新世代委員会> 中田委員長 「秋の自然に親しむ会」に参加してきました。

<出席状況報告> 野部委員長

*本日の出席

会員数 48名 出席義務者数 42名 出席者 35名 事前メイクアップ 0名

出席率 83.3%

欠席者 田澤会員、奥澤会員、宮田会員、谷会員、八下田(典)会員、松本会員、齋藤(誠)会員、

*前回(10月21日)の出席メイクアップ 0名 修正出席率 83.3%

欠席連絡のお願い

やむを得ず欠席となる場合は、足銀葛生支店(86-2181)の高木さんまたは寺内さんまで必ずご連絡ください。

<ニコニコBOX報告> 小林委員長

吉澤慎太郎君	あの『日光』で行なわれた共同製袋杯で優勝しました。
坪内 馨君	妻の誕生日にお花をいただいて。
齋藤 武君	ウォータークーラー(冷・暖兼用型)を納入しました。末永くご愛用をお願いします。
馬場俊一君	ありがとうございます。

会報委員長 八下田幸三 副委員長 椿 俊一 委員 須藤功一